



卒業後の『通勤・通所手段』について

卒業後の進路先を考える上で課題となるのが、通勤・通所手段です。将来の生活を想定し、必要となる力を考えて、日頃から取り組んでいきましょう。



通勤・通所手段



福祉事業所の利用開始は、9時～10時が多く、保護者より遅い時刻に家を出発する場合があります。通勤・通所の手段だけでなく、時間になったら一人で家を出発できるか、家の鍵を開閉できるか、乗降場所まで安全に移動できるかなど、今できることを確かめ、必要な力をつけていきましょう。

公共交通機関

電車やバスを利用できると、進路選択の幅が広がります。公共交通機関の利用ができるようになった後、早い段階から以下の経験を重ねることをお勧めします。

- ・普段と違う時間帯でも利用する便を判断できる
- ・乗り継ぎができる
- ・交通費の管理
- ・時間管理 など



自転車・徒歩

交通ルールを守り、安全に移動できる方は、自転車や徒歩で通勤・通所をしています。雨の日もレインコートを着て通勤する、自分でタオルや着替えなどを準備することも大切です。



自動車

運転免許を取得して、マイカー通勤をされている方もいます。(事業所によって規制あり) 自他の命にも関わる乗り物ですから、免許の取得については、ご家族で十分ご検討ください。



事業所の『送迎サービス』

事業所によっては、送迎サービスを実施しています。B型事業所はルート送迎で、自宅から最寄りの広い通りが乗降場所になるケースが多いです。生活介護事業所は、概ね自宅付近まで送迎をさせていただきます。

(現場実習中は送迎サービスを利用できない事業所もあります)

身につけておきたい力は以下の通りです。

- ・スムーズ(短時間で)に乗り降りできる
- ・自分でシートベルトができる
- ・決めた時間に家を出る
- ・玄関の鍵の開閉
- ・鍵の管理
- ・乗降場所まで安全に移動できる など



生活介護〇〇事業所からの要望

送迎を利用する際には、保護者との引き渡しをお願いしています。事故防止のためですので、ご理解とご協力をお願いします。



朝の送迎時に、家の外で、一人で送迎を待っていた事例があったそうです。時間の都合など、事業所との連携を密にすることも大切です。

早くも2学期も終盤、冬休み間近となりました。みなさん冬休みはどのように過ごされていますか？ 次回は、福祉サービスなどを活用した余暇時間の過ごし方をご紹介します。